

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 14 日 (2009.5.14)

【公表番号】特表 2008-543992 (P2008-543992A)

【公表日】平成 20 年 12 月 4 日 (2008.12.4)

【年通号数】公開・登録公報 2008-048

【出願番号】特願 2008-516008 (P2008-516008)

【国際特許分類】

C 0 8 L 77/06 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/40 (2006.01)

H 0 1 L 33/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 77/06

C 0 8 K 3/00

C 0 8 K 3/40

H 0 1 L 33/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 30 日 (2009.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 つまたは複数のジアミンと、1 つまたは複数のジカルボン酸とを重合することによって調製されたポリアミドを含むポリアミド樹脂を含み；(a) 前記 1 つまたは複数のジアミンの約 50 ～ 約 100 モル % が、10 ～ 20 個の炭素原子を有する少なくとも 1 つの脂肪族ジアミンであり、およびさらに前記 1 つまたは複数のジアミンの約 0 ～ 約 50 モル % が、1,9-ジアミノノナン以外の 4 ～ 9 個の炭素原子を有する少なくとも 1 つの脂肪族ジアミンであり；およびさらに (b) 前記 1 つまたは複数のジカルボン酸の約 50 ～ 約 100 モル % がテレフタル酸であり、およびさらに前記 1 つまたは複数のジカルボン酸の約 0 ～ 約 50 モル % が、テレフタル酸以外の少なくとも 1 つの芳香族酸および / または 4 ～ 20 個の炭素原子を有する少なくとも 1 つの脂肪族ジカルボン酸であることを特徴とする発光ダイオードアセンブリの構成部品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

(最終用途)

平滑で光沢のある表面を必要とする他のポリアミド組成物および特に製品で典型的に使用されるものより高い温度に遭遇する LED アセンブリの広範囲の様々な構成部品の製造で、溶融加工技術を使用して、本発明の組成物を使用することができる。また本発明の組成物を LED 用途に特有のフィルムおよびシートに形成することができる。高温での特性の保持が必須の特性である LED 最終用途で、これらの組成物は実用性を見出される。

以下に、本発明の好ましい態様を示す。

[ 1 ] 1つまたは複数のジアミンと、1つまたは複数のジカルボン酸とを重合することによって調製されたポリアミドを含むポリアミド樹脂を含み；( a ) 前記1つまたは複数のジアミンの約50～約100モル％が、10～20個の炭素原子を有する少なくとも1つの脂肪族ジアミンであり、およびさらに前記1つまたは複数のジアミンの約0～約50モル％が、1,9-ジアミノノナン以外の4～9個の炭素原子を有する少なくとも1つの脂肪族ジアミンであり；およびさらに( b ) 前記1つまたは複数のジカルボン酸の約50～約100モル％がテレフタル酸であり、およびさらに前記1つまたは複数のジカルボン酸の約0～約50モル％が、テレフタル酸以外の少なくとも1つの芳香族酸および/または4～20個の炭素原子を有する少なくとも1つの脂肪族ジカルボン酸であることを特徴とする発光ダイオードアセンブリの構成部品。

[ 2 ] ハウジング、リフレクター、リフレクターカップおよびスクランブラーよりなる群から選択されることを特徴とする[ 1 ] に記載の構成部品。

[ 3 ] 約10重量％未満の無機充填材をさらに含むことを特徴とする[ 1 ] に記載の構成部品。

[ 4 ] 前記充填材が、ガラス繊維およびガラスフレークから選択されることを特徴とする[ 3 ] に記載の構成部品。

[ 5 ] 1つまたは複数の添加剤をさらに含むことを特徴とする[ 3 ] に記載の構成部品。

[ 6 ] 前記1つまたは複数の添加剤が、UV安定剤および酸化防止剤、潤滑剤、難燃剤および着色剤よりなる群から独立して選択されることを特徴とする[ 5 ] に記載の構成部品。